

## 公立病院改革プランの概要

団 体 名		埼玉県					
プランの名称		埼玉県立病院経営健全化第3次フォローアッププラン					
策 定 日		平成 21 年 3 月 26 日					
対 象 期 間		平成 21 年度 ~ 平成 23 年度					
病院の現状	病院名	埼玉県立循環器・呼吸器病センター					
	所在地	埼玉県熊谷市板井1696					
	病床数	一般病床268床 結核病床51床 合計319床					
	診療科目	内科、呼吸器科、循環器科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、 心臓血管外科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、 麻酔科、歯科					
1 公立病院として 今後果たすべき役割(概要) (注)詳細は別紙添付	<p>循環器系疾患及び呼吸器系疾患に関する高度で専門的な医療を担う公的医療機関として、「誠意と熱意をもって患者さんに接する」という基本理念を掲げ、次の基本方針のもとに全職員が「患者第一」を信条として、患者さん中心の医療を提供していく。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 患者さん中心の医療</li> <li>2 高度・先進的な医療</li> <li>3 チーム医療の提供</li> <li>4 医療安全の確保</li> <li>5 個人情報保護</li> <li>6 地域医療との連携</li> <li>7 自己研鑽と質の向上</li> <li>8 公的な結核医療施設</li> </ol>						
2 一般会計における経費負担の 考え方(繰出基準の概要)	<p>行政的な経費          ①看護師養成の経費 ②救急医療の確保のための経費 ③保健衛生行政の経費          公立病院の役割を果たすため能率的な経営を行ってもなお必要と認められる経費          ①基礎年金等に要する経費 ②高度医療に要する経費          ③医師及び看護師等の研究研修に要する経費 ④特殊医療に要する経費          ⑤企業債利息・建設改良に要する経費</p>						
3 経営効率化に係る計画		19年度 (実績)	20年度 (見込み)	21年度	22年度	23年度	備考
	①経常収支比率	95.0 %	94.3 %	97.8 %	103.1 %	101.7 %	
	①職員給与費対医業収益比率	47.1 %	48.5 %	49.0 %	47.1 %	46.6 %	
	③病床利用率(全体)	78.3 %	77.1 %	77.8 %	78.6 %	79.4 %	
	③病床利用率(一般)	84.8 %	83.3 %	85.3 %	86.1 %	87.0 %	
	[任意指標]						
	①繰入金を除いた医業収支比率	83.0 %	82.2 %	82.1 %	87.1 %	86.8 %	
	②委託費対医業収益比率	8.0 %	9.0 %	9.1 %	9.0 %	9.5 %	
	②医療材料費対医業収益比率	45.7 %	44.7 %	45.1 %	43.7 %	43.7 %	
	③1日当たり外来患者数	357.9 人	346.5 人	352.9 人	352.9 人	352.9 人	
④流動比率	900.4 %	993.6 %	1,043.3 %	975.9 %	1,012.7 %		
上記目標数値設定の考え方	<p>任意項目としては、以下の指標を採用する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①収支改善を図る指標として、繰入金を除いた医業収支比率</li> <li>②経費削減を図る指標として、委託費医業収支比率、医療材料費対医業収支比率</li> <li>③収入確保を図る指標として、1日当たり外来患者数</li> <li>④経営の安定性を図る指標として、流動比率 (経常黒字化の目標年度:平成22年度)</li> </ol>						

				団体名 (病院名)	埼玉県 (埼玉県立循環器・呼吸器病センター)		
4 公立病院としての医療機能に係る数値目標(主なもの)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	21年度	22年度	23年度	備考	
	紹介率	85.2 %	85.5 %	86.0 %	86.5 %	87.0 %	
	逆紹介率	63.6 %	64.0 %	64.5 %	65.0 %	65.5 %	
	救急搬送患者数	1,314 人	1,168 人	1,200 人	1,260 人	1,320 人	
5 経営効率化に係る計画	数値目標達成に向けての具体的な取組及び実施時期	(1) 民間的経営手法の導入	①県立4病院で共同購入する診療材料の対象を増やす。 ②医療事務職員を外部からの公募等により採用し、病院経営の専門性向上を図る。				
		(2) 事業規模・形態の見直し	特になし。				
		(3) 経費削減・抑制対策	①経営改善チームにより、経費の削減につながる取組を実施する。 ②業務委託契約手法に長期継続契約を導入し、また、一般競争入札により更なる競争性を高めるなど、医療の質を下げない範囲で委託経費の削減を図る。 ③県立4病院で共同購入している診療材料の対象を増やし、経費の削減を図る。 ④CT、MRI検査結果の電子媒体化、心電図記録形式の変更、試薬容器に残ってしまう薬品の分量減少などにより、診療材料の抑制をさらに行う。				
		(4) 収入増加・確保対策	①経営改善チームにより、収入の増加につながる取組を実施する。 ②効率的なベッドコントロールを徹底し、新規患者数の増加を図る。 ③地域医療支援病院としての役割を果たすとともに、登録医の数を増やして、紹介患者の増加を図るなど、更なる地域医療連携を図る。 ④7対1看護の施設基準を維持することにより、入院収益の確保を図る。 ⑤保険委員会の活用により再審査請求を積極的に行うなど、査定減の縮減を図る。 ⑥診療報酬の請求漏れを防ぐため、院内で診療報酬研修会を開催する。 ⑦DPC算定により増収を図ることを検討する。				
		(5) その他	①医師や看護師など優れた医療スタッフを確保するため、医療の環境整備に努める。 (認定・専門看護師の養成、教育施設・認定施設取得など) ②医師事務補助職員の配置などを検討し、医師等の業務の軽減を図る。 ③「未収金マニュアル」を活用し、簡易裁判所の支払督促制度や債権回収専門会社(サービサー)を活用するなどして、未収金の積極的な回収に努める。 ④病院機能評価の取組を通じて、医療の質の向上を図る。 ⑤外来投薬の院外処方化を推進する。 ⑥「患者満足度調査」を継続実施し、患者の声を経営に反映させ、患者満足度の向上を図る。 ⑦ホームページによる広報を拡充し、患者への情報提供の充実を図る。				
各年度の収支計画		別紙のとおり					
その他の特記事項	病床利用率の状況(全体) 病床利用率の状況(一般)	17年度	84.3% 90.3%	18年度	83.3% 88.1%	19年度	78.3% 84.8%
	病床利用率の状況を踏まえた病床数等の抜本見直し、施設の増改築計画の状況等	現在のところ予定なし。					

団体名  
(病院名)

埼玉県  
(埼玉県立循環器・呼吸器病センター)

6 再編・ネットワーク化に係る計画	二次医療圏内の公立病院等配置の現況	埼玉県立循環器・呼吸器病センターが所在する大里保健医療圏には、公立病院等は深谷赤十字病院(506床)及び埼玉県厚生農業協同組合連合会熊谷総合病院(322床)が開設されている。 ※ 病床数は「埼玉県病院名簿」(平成21年3月11日時点)より		
	都道府県医療計画等における今後の方向性	埼玉県立循環器・呼吸器病センターは、埼玉県全域を対象として、高度で専門的な保健医療サービスを提供する病院である。		
	再編・ネットワーク化計画の概要及び当該病院における対応計画の概要	<時期> 再編・ネットワーク化の予定はない。	<内容> 埼玉県立循環器・呼吸器病センターは、循環器系疾患及び呼吸器系疾患における高度専門的な病院として、他の医療機関と役割を分担して、緊密な連携を図っていることから、当面はこの体制を大きく見直す状況にはないものと考えている。	
7 経営形態見直しに係る計画	経営形態の現況	<input type="checkbox"/> 公営企業法財務適用	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input type="checkbox"/> 地方独立行政法人
	経営形態の見直し(検討)の方向性	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度	<input type="checkbox"/> 一部事務組合・広域連合	
	経営形態見直し計画の概要	<input checked="" type="checkbox"/> 公営企業法全部適用	<input checked="" type="checkbox"/> 地方独立行政法人	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度
8 点検・評価・公表等	点検・評価・公表等の体制	<p>【点検・評価】 埼玉県病院運営協議会を活用 埼玉県病院運営協議会: 県立病院の運営に関し、必要な事項に関する協議を行う組織 委員構成: 埼玉県議会議員など県民代表、埼玉県医師会、埼玉県歯科医師会、埼玉県看護協会及び学識経験を有する者</p> <p>【公表】 ホームページ等により行う。</p>		
	点検・評価の時期	【点検・評価】毎年1月頃		
その他特記事項		繰入金を除いた医業収支比率などの指標については、埼玉県立循環器・呼吸器病センターと規模や診療内容が類似している自治体立病院との比較、検証を行う。		

(別紙)

団体名 (病院名)	埼玉県 (埼玉県立循環器・呼吸器病センター)
--------------	---------------------------

## 1. 収支計画 (収益的収支)

(単位:百万円、%)  
税込み

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 医業収益 a	8,786	8,761	8,824	8,994	9,360	9,454
	(1) 料金収入	8,607	8,595	8,664	8,810	9,176	9,270
	(2) その他	179	166	160	184	184	184
	うち他会計負担金	0	0	0	0	0	0
	2. 医業外収益	1,692	1,610	1,558	1,970	1,969	1,969
	(1) 他会計負担金・補助金	1,653	1,550	1,494	1,901	1,901	1,901
	(2) 国(県)補助金	0	0	0	1	0	0
	(3) その他	39	60	64	68	68	68
	経常収益(A)	10,478	10,371	10,382	10,964	11,329	11,423
	入	1. 医業費用 b	10,269	10,556	10,731	10,960	10,751
(1) 職員給与費 c		3,859	4,124	4,277	4,409	4,409	4,409
(2) 材料費		4,137	4,070	4,011	4,117	4,153	4,197
(3) 経費		1,310	1,377	1,473	1,517	1,548	1,597
(4) 減価償却費		889	917	909	842	566	617
(5) その他		74	68	61	75	75	75
2. 医業外費用		400	356	281	245	235	339
(1) 支払利息		293	276	253	214	202	190
(2) その他		107	80	28	31	33	149
経常費用(B)		10,669	10,912	11,012	11,205	10,986	11,234
経常損益(A)-(B)(C)	▲191	▲541	▲630	▲241	343	189	
特別損益	1. 特別利益(D)	0	0	0	0	0	0
	2. 特別損失(E)	0	0	0	0	0	0
	特別損益(D)-(E)(F)	0	0	0	0	0	0
純損益(C)+(F)	▲191	▲541	▲630	▲241	343	189	
累積欠損金(G)	0	271	901	1,137	794	605	
不良債務	流動資産(ア)	8,922	8,653	8,793	9,546	8,959	9,418
	流動負債(イ)	1,004	961	885	915	918	930
	うち一時借入金	0	0	0	0	0	0
	翌年度繰越財源(ウ)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等償で未借入又は未発行の額(エ)	0	0	0	0	0	0
差引不良債務(オ)	▲7,918	▲7,692	▲7,908	▲8,631	▲8,041	▲8,488	
単年度資金不足額	-	226	▲216	▲723	590	▲447	
経常収支比率 $\frac{(A)}{(B)} \times 100$	98.2%	95.0%	94.3%	97.8%	103.1%	101.7%	
不良債務比率 $\frac{a}{b} \times 100$	-90.1%	-87.8%	-89.6%	-96.0%	-85.9%	-89.8%	
医業収支比率 $\frac{a}{b} \times 100$	85.6%	83.0%	82.2%	82.1%	87.1%	86.8%	
職員給与費対医業収益比率 $\frac{(c)}{(a)} \times 100$	43.9%	47.1%	48.5%	49.0%	47.1%	46.6%	
地方財政法施行令第19条第1項により算定した資金の不足額(H)	0	0	0	0	0	0	
地方財政法上の資金不足の割合 $\frac{(H)}{a} \times 100$	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
地方公共団体の財政の健全化に関する法律上の資金不足比率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
病床利用率	全体	83.3%	78.3%	77.1%	77.8%	78.6%	79.4%
	一般	88.1%	84.8%	83.3%	85.3%	86.1%	87.0%

団体名 (病院名)	埼玉県 (埼玉県立循環器・呼吸器病センター)
--------------	---------------------------

2. 収支計画(資本的収支)

(単位:百万円、%)

区分		年度					
		18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収	1. 企業債	0	0	436	0	0	0
	2. 他会計出資金	0	0	0	0	0	0
	3. 他会計負担金	300	307	346	159	232	236
	4. 他会計借入金	0	0	0	0	0	0
	5. 他会計補助金	0	0	0	0	0	0
	6. 国(県)補助金	0	60	0	0	0	0
	7. その他	0	0	0	0	0	0
入	収入計 (a)	300	367	782	159	232	236
	うち翌年度へ繰り越される 支出の財源充当額 (b)	0	0	0	0	0	0
	前年度許可債で当年度借入分 (c)	0	0	0	0	0	0
	純計(a)-(b)+(c) (A)	300	367	782	159	232	236
支	1. 建設改良費	594	514	412	430	807	470
	2. 企業債償還金	345	431	767	327	338	349
	3. 他会計長期借入金返還金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	4	7	594	0
出	支出計 (B)	939	945	1,183	764	1,739	819
	差引不足額 (B)-(A) (C)	639	578	401	605	1,507	583
補 て ん 財 源	1. 損益勘定留保資金	524	384	401	406	1,401	470
	2. 利益剰余金処分量	115	194	0	199	106	113
	3. 繰越工事資金	0	0	0	0	0	0
	4. その他	0	0	0	0	0	0
補 て ん 財 源 不 足 額	計 (D)	639	578	401	605	1,507	583
	補てん財源不足額 (C)-(D) (E)	0	0	0	0	0	0
	当年度同意等債で未借入 又は未発行の額 (F)	0	0	0	0	0	0
実質財源不足額 (E)-(F)		0	0	0	0	0	0

3. 一般会計等からの繰入金の見通し (平成21年当初予算における繰入れの考え方に基づく試算)

(単位:千円)

	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度	22年度	23年度
収益的収支	( ) 1,653,240	( ) 1,550,175	( ) 1,493,533	( ) 1,900,701	( ) 1,900,701	( ) 1,900,701
資本的収支	( ) 300,382	( ) 307,169	( ) 346,205	( ) 158,624	( ) 232,342	( ) 235,582
合計	( ) 1,953,622	( ) 1,857,344	( ) 1,839,738	( ) 2,059,325	( ) 2,133,043	( ) 2,136,283

※ 上記1・2・3の20年度見込み額は、平成20年4月から12月までの実績を基にして算出したもの。

公立病院として今後果たすべき役割（循環器・呼吸器病センター）

1 患者さん中心の医療

患者さんの権利と意思を尊重し、インフォームド・コンセント（説明と同意）に基づいた医療を実践する。

2 高度・先進的な医療

循環器系疾患及び呼吸器系疾患に関する専門病院として、高度先進医療を提供する。

3 チーム医療の提供

最新の技術と豊かな経験を有する専門職によるチーム医療を行い、信頼される医療の提供を目指す。

4 医療安全の確保

医療安全管理体制を確立し、安全性を優先した医療を行う。

5 個人情報の保護

診療情報などに関する個人情報を適切に管理し、プライバシーの保護に努める。

6 地域医療との連携

地域の医療機関との連携を強化し、地域医療の充実を図る。

7 自己研鑽と質の向上

職員一人ひとりが自己研鑽し、医療水準の向上に努める。

8 公的な結核医療施設

公的な結核医療施設として、必要な医療の提供を行う。